

# 製品安全データシート

## 1. 化学物質等及び会社情報

会社名 : マックス株式会社  
住所 : 群馬県佐波郡玉村町川井 1848  
部署 : 環境・品質保証部 環境企画推進 SEC  
電話番号 : 0270-65-1381  
FAX 番号 : 0270-65-1043  
作成日 : 2011年7月12日

製品名 (商品名) NR-20クロ (製品コード: NR90245)

推奨用途及び使用上の制限 ナンバリング・ロータリーチェックライター用インク  
浸透性のある用紙向き

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性/引火性ガス	分類対象外
	可燃性/引火性エアゾール	分類対象外
	支粘性/酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	区分外
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	分類対象外
	自然発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分外
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入: ガス)	分類できない
	急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類できない

ラベル要素	環境に対する有害性	急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	分類できない
		皮膚腐食性/刺激性	区分外
		眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分外
		呼吸器感作性	分類できない
		発がん性	区分2B（カーボンブラック）
		生殖毒性	区分外
		特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）	分類できない
		特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）	分類できない
		吸引性呼吸器有害性	区分1
		水性環境有害性・急性	区分外
水性環境有害性・慢性	分類できない		



絵表示またはシンボル :シンボル;

注意喚起語	: 危険
危険有害性情報	: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ 慢性的ミストの吸引による発がんのおそれの疑い
注意書き	: <b>【安全対策】</b> なし <b>【救急処置】</b> 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡する事。吐かせないこと。 <b>【保管】</b> 容器は密閉し、高温を避け保管する。火気厳禁 <b>【廃棄】</b> 製品の廃棄には規則に従って廃棄すること

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：植物油、流動パラフィン、高級アルコール カーボンブラックとの混合物

一般名：商品名と同じ

成分及び含有量

(機密扱い分に関しては非公開)

成分名	含有量%
カーボンブラック系顔料 (CB) C. I. Pigment Black 7	+ 変性ロジンエステル 15~25%
化審法番号 : (5)-3328 + (7)-950	
CAS No. : 1333-86-4 + 68475-37-6	
組成 : 30~40% + 60~70%	
植物油	20~30 %
化学名 : 脂肪酸トリグリセライド	
官報公示整理番号 : (化審法, 安衛法) 天然物のため該当せず	
高級アルコール	8~10%
化学名 : ヘキシルデカノール	
化審法番号 : 2-217	
安衛法 既存	
CAS No. : 2425-77-6	
TSCA : 記載されていない	
国連分類 : 国連の分類基準に該当しない	
潤滑油	40~50 %
化学名 : 流動パラフィン	
化学式又構造式 : 特定できない	
CAS No. : 8042-47-5	
官報公示整理番号 : (9)-1692	
PRTR 法 : 成分に該当物質含まない	

#### 4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のところへ移し、鼻をかみ、うがいをさせる、  
必要により医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合 : 石鹼水で十分洗い落とし、汚れ落ちが悪い場合には、  
クレンジングクリームを塗り、やわらかい布で拭き  
取る。

目に入った場合 : 清浄な水で約 15 分間丁寧に洗い、医師の診察を受ける。  
(文献 1)

飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないで、すみやかに医師の診察を受ける。  
口の中が汚染されている場合には、水で十分に洗うこと。  
(文献 2)

## 5. 火災時の措置

消化剤：霧状の強化液、泡、粉末又は炭酸ガス消化剤が有効である。

使ってはならない消化剤：消火に棒状の水を用いてはならない。

特有の消火方法：火元への燃焼源を断つ。

初期の火災には、粉末、炭酸ガス消化剤を用いる。

大規模火災の際には、泡消火器を用いて空気を遮断することが有効である。注水は、火災を拡大し危険な場合がある。

周囲の設備などに散水して冷却する。

火災作業の際には、風上から行い必ず保護具を着用する。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

消化を行なう者の保護：消化作業は、保護メガネ、保護衣、状況によっては呼吸保護具を着用して、風上から行う。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び

緊急時措置：皮膚に触れたり、眼に入る可能性がある場合は、保護具を着用する。ミストが発生する場合、呼吸器具等を使用してミストを吸入しないこと。

環境に対する注意事項：土壌の汚染、水質汚濁に繋がるので、可能な限り回収する。

回収、中和：大量の場合：漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。作業の際には必ず防護服を着用する。漏洩した液は土砂などでその流れをとめ、安全な場所に導いた後、出来るだけ空容器に回収する。河川、下水同等に排出されないように注意する。

少量の場合：土砂、ウエス等で吸着させて空容器に回収し、その後を完全にウエスで拭き取る。

海上の場合：オイルフェンスを展開して拡散を防止し、吸着マット等で吸取る。

封じ込め及び浄化の方法・機材：こぼれた場合は液の拡散を防止し、流出物をすくい取るか、又は適当な吸収剤を使用して回収する。止むを得ない場合は薬剤を使用する。薬剤を用いる場合には運輸省令で定める技術上の基準に適合したもので無ければならない。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 1. 指定数量以上の量を取扱う場合には、法で定められた基準に満足する製造所、貯蔵所、取扱所で行う。

2. 炎、火花または高温体との接触をさけるとともに、みだりに蒸気を発散させないこと。
3. 常温で取り扱うものとし、その際、水分、きょう雑物の混入に注意すること。
4. 石油製品から発生した蒸気は空気より重いので滞留しやすい。そのため換気及び火気などへの注意が必要である。
5. 飲まないで下さい。
6. 皮膚に触れたり、眼に入る可能性がある場合は、保護具を着用する。
7. 皮膚接触後は手をよく洗う
8. 容器は必ずふたをすること。
9. 静電気対策を行い、作業着、靴等も導電性の物を使用する。
10. ミストが発生する場合、呼吸器具等を使用してミストを吸入しないこと。

- 保管：
1. 品質劣化防止のため、直射日光を避け、常温での保管が、望ましい
  2. 容器を破損しないように注意する。
  3. 熱、スパーク、火炎並びに静電気蓄積を避ける。
  4. ポリプロピレン製容器が軟化しますので、高温となる場所には保管しないこと。
  5. ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管を避ける。

混触禁止物質：10. 安定性および反応性を参照。

保管条件 換気の良い場所に保管する。

直射日光を避け保管する。

容器のキャップを閉めて保管する。

容器包装材料： 金属製の石油缶やポリエチレン、ポリプロピレン製容器。

## 8. 暴露防止及保護措置

管理濃度：規定なし。

(作業環境評価基準：構成労働省告示第79号別表)

許容濃度 (ばく露限界、生物学的ばく露指標)

日本産衛学会 (2008年度版) : 3mg/m<sup>3</sup> (鉱油ミスト)

ACGIH (2008年度版) : 時間荷重平均 TWA 5mg/m<sup>3</sup> (鉱油ミスト)

設備対策：ミストおよび蒸気が発生する場合は発生源の密閉化、または排気装置を設ける。

## 保護具

呼吸用保護具：通常では特に必要としない。必要に応じて防毒マスク（有機ガス用）を着用する。

手の保護具：長期間または繰り返し接触する場合には耐油性のものを着用する。

眼の保護具：飛沫が飛ぶ場合には普通型眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具：長時間にわたり取扱う場合または濡れる場合には耐油性の長袖作業服等を着用する。濡れた衣服は脱ぎ、完全に清浄にしてから再使用する。

衛生対策：保護具は保護具点検表により定期的に点検する。  
作業中は飲食、喫煙はしない。  
飲食、喫煙前には石鹸で手を洗う。

## 9. 物理的及化学的性質

### 物理的状态

形状	: 液体
色	: 黒色
臭い	: 無臭または、わずかな油臭
pH	: 該当しない
融点。凝固点	: 該当しない
引火点	: 130°C以上 (COC)
発火点	: データなし
爆発範囲 (爆発限界)	: 上限: 7% 下限: 1% (推定値)
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重	: 0.89-0.95
溶解度 水溶解性	: 不溶
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
分解温度	: データなし
流動点	: -12.5 度°C
揮発性	: なし (常温)

## 1 0. 安定性及び反応性

- 安定性 : 安定  
危険有害反応可能性 : 安定  
避けるべき条件 : 加熱、混触危険物質との接触、火源  
混触危険物質 : 強酸化剤  
危険有害な分解生成物 : なし

## 1 1. 有害性情報

- 急性毒性 : LD50(経口) 5,000mg/Kg 以上 (同等品の Rat によるテスト)  
(カーボンブラック)

よって急性毒性(経口) 区分外に分類される。

経皮 : データが無いため、急性毒性(経皮) は分類できない。

吸入 : データが無いため、急性毒性(吸入) は分類できない。

- 皮膚腐食性/眼刺激性 : ウサギのひふに適用したが刺激性は認められなかった。  
よって皮膚腐食性/刺激性 区分外に分類される。

眼に対する重篤な損傷製/刺激性 : ウサギの眼に適用したが刺激性は認められなかった。  
よって眼に対する重篤な損傷製/眼刺激性 区分外に分類される。

呼吸器感受性 : データが無いため、呼吸器感受性は分類できない。

皮膚感受性 : モルモットの皮膚に適用したが皮膚感受性は認められなかった。

生殖細胞変異原性 : データが無いため生殖細胞変異原性、は分類できない。

発がん性 : 動物(ラット) 試験に基づき、IARC はカーボンブラックの  
発癌性は Group 2B(ヒトに対して発癌性の可能性あり)に  
相当すると判定

## 1 2. 環境影響情報

- 生態毒性 : 魚類(ブルーギル) の96時間 LC50>10g/L

よって水生物環境有害性(急性) 区分外に分類される。

急性毒性が区分外であるが、生物蓄積性及び急速分解性が不明  
であることから、水生環境有害性(慢性) は分類できない。

残留性と分解性 : 情報なし

生物蓄積性 : 情報なし

土壌中の移動性 : 情報なし

他の有害影響 : 情報なし

環境基準 : 情報なし

### 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 内容物/容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること

### 1 4. 輸送上の注意

国際規則 : 航空輸送は IATA 及び海上輸送は IMDG の規則に従う。

国連番号 : 該当しない

品名 : 該当しない

国連分類 : 該当しない

国内規則

陸上 : 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う

海上輸送 : 船舶安全法 非危険物 に定められている運送方法に従う。

航空輸送 : 航空法 非危険物 に定められている運送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件 : 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

### 1 5. 適用法令

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9）・カーボンブラック（政令番号第 130 号）

消防法 : 危険物 第四類 第三石油類（非水溶性）

化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法） : 該当しない

毒物及び劇物取締法 : 該当しない

水質汚濁防止法 : 油分排出規制（5mg/L 許容濃度）n-ヘキサン抽出物として検出される。

海洋汚染防止法 : 油分排出規制（原則禁止）

下水道法 : 鉱油類排出規制

廃棄物の処理及び清掃に関する法律 : 産業廃棄物規制（拡散、排出の禁止）



## 16. その他の情報

参考文献 各材料メーカーのMSDS

引用文献

1. ANSI Z 129.1-1994 American National Standards Institute. (米国規格協会)
2. 新・絵で見る中毒110番 (保険同人社)

- \* 製品安全データシートは、本製品の原材料の製品安全データシート等に基づいて作成いたしました。必要な参考文献も引用させて頂きました。
- \* 本『製品安全データシート』は、本製品を適切にご使用して戴くために、必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常的な取扱いを対象としたものです。
- \* 本品の使用方法については、『製品安全データシート』を参考の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。
- \* ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報や各材料メーカー所有の知見によるものです。また、内容は法令の改正及び新しい知見に基づき改定されることがあります。
- \* 記載内容のうち、成分及び含有量、物理化学的性質などの値は、品質保証値ではありません。
- \* 本『製品安全データシート』に記載されている内容は、情報提供であっていかなる保証をするものでもありません。